

平成26年度 e・アンケートモニター  
第3回アンケート調査結果

テーマ「やまぐち森林づくり県民税について」

I 調査の概要

1 調査の目的

山口県では、平成17年度に「やまぐち森林づくり県民税」を導入し、荒廃した森林の再生や繁茂した竹林の整備などに取り組んできました。

この「やまぐち森林づくり県民税」は、平成26年度で期間が満了することとなり、今年度、これまでの実績を踏まえ、今後のあり方を検討することとしています。

このアンケートでは、本県の森林づくりに対する意識等を把握し、今後のあり方を検討するに当たっての参考とします。

2 調査実施期間

平成26年10月1日(水)～10月15日(水)

3 調査対象

平成26年度 e・アンケートモニター 121 人

4 回答状況

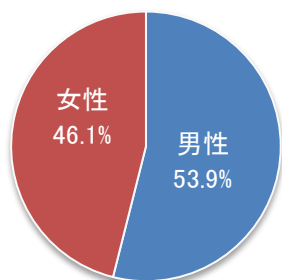
回答者 89 人(回答率 73.6%)

5 調査担当部

山口県農林水産部森林企画課

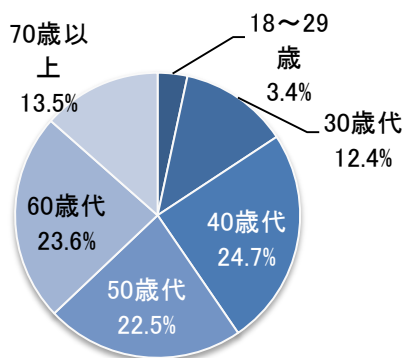
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	48	53.9
女性	41	46.1
計	89	100.0

■年代別

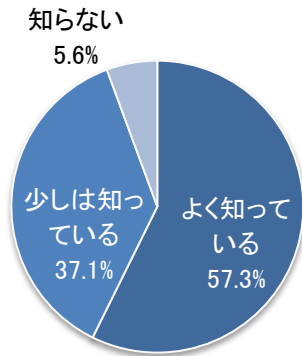


区分	人数	%
18～29 歳	3	3.4
30 歳代	11	12.4
40 歳代	22	24.7
50 歳代	20	22.5
60 歳代	21	23.6
70 歳以上	12	13.5
計	89	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が 100.0%とまらない場合があります。

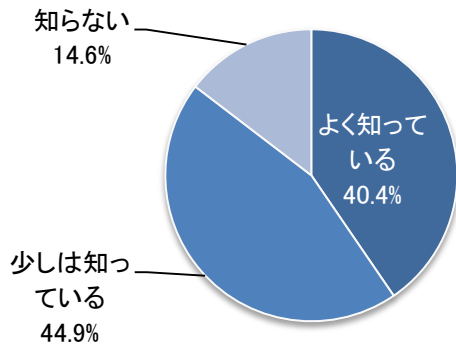
### Ⅲ 調査結果

**Q 1** 森林は、豊かな水やきれいな空気を育み、災害から県土を守り、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するなどの様々な役割（これらを総称して「森林の持つ多面的な機能」と呼ばれています）を果たし、県民の暮らしや産業を支えていることを、あなたはご存じでしたか。（1つのみ）



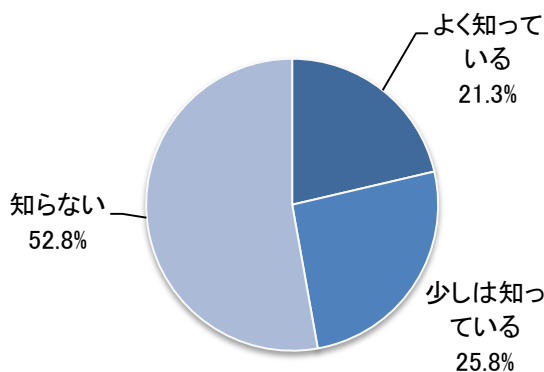
選択肢	人数	%
よく知っている	51	57.3
少しは知っている	33	37.1
知らない	5	5.6
計	89	100.0

**Q 2** 県土面積の7割を超える森林の中で、スギやヒノキの人工林が荒廃し、森林の持つ多面的な機能が発揮されにくくなっていることや、生い茂った竹林によって生活面での支障が生じていることを、あなたはご存知でしたか。（1つのみ）



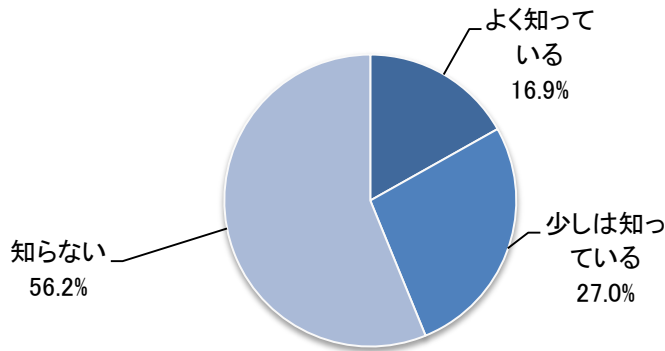
選択肢	人数	%
よく知っている	36	40.4
少しは知っている	40	44.9
知らない	13	14.6
計	89	100.0

**Q 3** 山口県では、荒廃した森林を再生することを目的に、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しています。このアンケート調査の前に「やまぐち森林づくり県民税」のことを、あなたはご存じでしたか。（1つのみ）



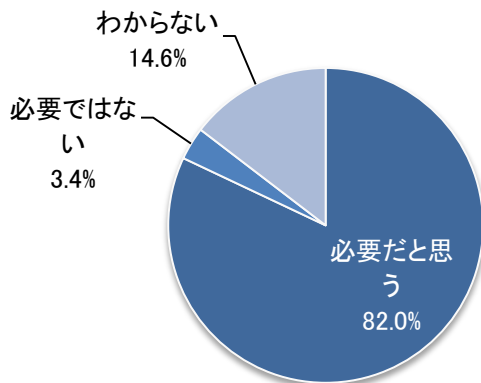
選択肢	人数	%
よく知っている	19	21.3
少しは知っている	23	25.8
知らない	47	52.8
計	89	100.0

**Q 4** 山口県では、「やまぐち森林づくり県民税」による税収を活用し、荒廃森林の再生のための事業を進めています。このような取組が進められていることを、あなたはご存じでしたか。(1つのみ)



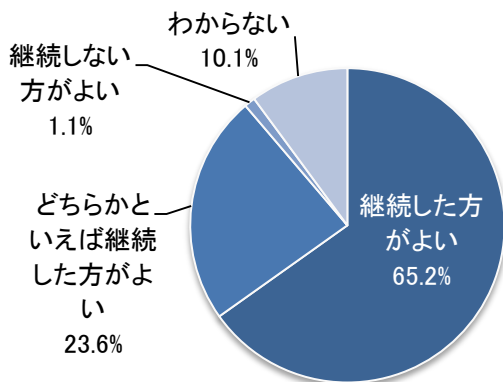
選択肢	人数	%
よく知っている	15	16.9
少しは知っている	24	27.0
知らない	50	56.2
計	89	100.0

**Q 5** 森林づくり県民税による荒廃森林の再生のための取組を、あなたはどのように思われますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
必要だと思う	73	82.0
必要ではない	3	3.4
わからない	13	14.6
計	89	100.0

**Q 6** 山口県には、荒廃した人工林や生い茂った竹林がまだ多くあります。あなたはこの取り組みをどのように思われますか。(1つのみ)



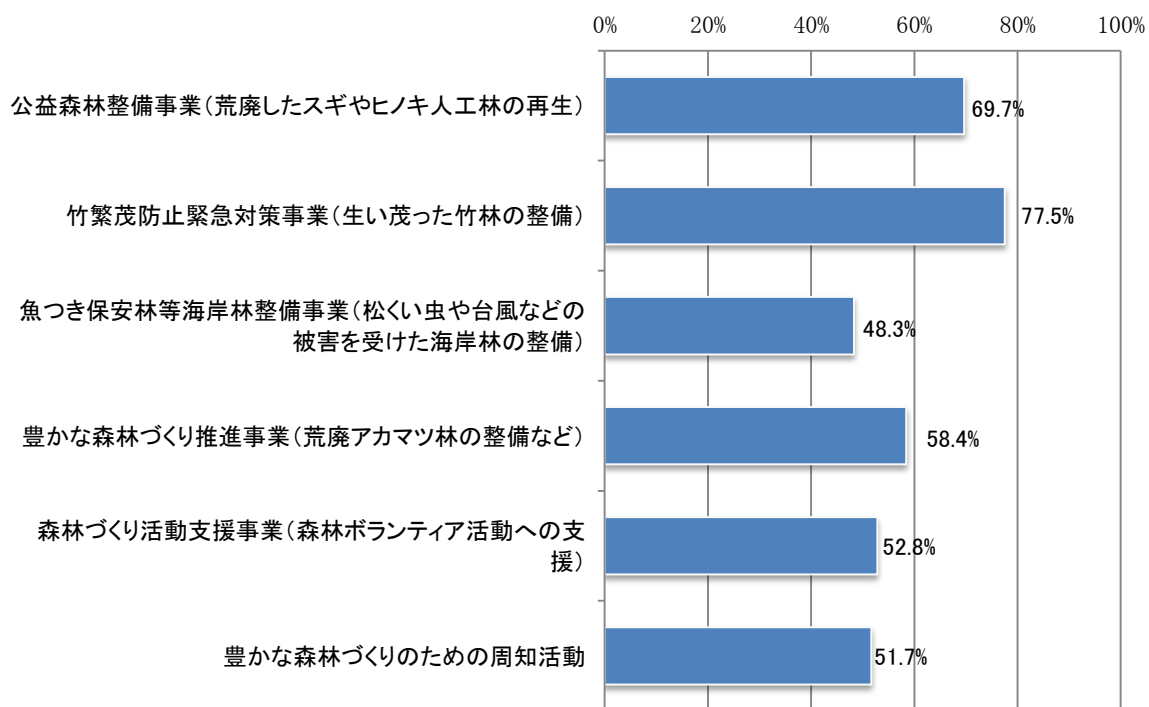
選択肢	人数	%
継続した方がよい	58	65.2
どちらかといえば継続した方がよい	21	23.6
継続しない方がよい	1	1.1
わからない	9	10.1
計	89	100.0

「継続しない方がよい」、「わからない」と回答をされた方は、その理由をお答えください。(全角200字以内)

省略

【Q7～Q9は、Q6で、「継続した方がよい」又は「どちらかといえば継続した方がよい」と回答された方のみお答えください。】 回答対象者：79人

**Q7** 現在取り組んでいる次の事業について、制度を継続した場合に、引き続き実施すべきと思われる事業はどれですか。（実施すべきと思われる事業すべて）



(複数回答)

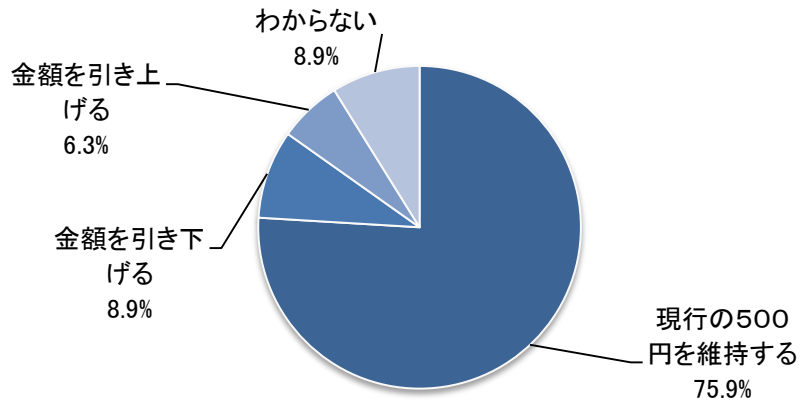
選択肢	人数	%
公益森林整備事業(荒廃したスギやヒノキ人工林の再生)	62	69.7
竹繁茂防止緊急対策事業(生い茂った竹林の整備)	69	77.5
魚つき保安林等海岸林整備事業(松くい虫や台風などの被害を受けた海岸林の整備)	43	48.3
豊かな森林づくり推進事業(荒廃アカマツ林の整備など)	52	58.4
森林づくり活動支援事業(森林ボランティア活動への支援)	47	52.8
豊かな森林づくりのための周知活動	46	51.7

(複数回答;回答者 79 人)

**Q8** 制度を継続した場合に、Q7に掲げる事業以外に取り組んだ方がよいと考えられる事業がありますか。あれば記入をお願いします。(全角200字以内)

省略

**Q 9** 「やまぐち森林づくり県民税」は、個人一人当たり年間 500 円を負担していただいています。今後も継続する場合、あなたはどの程度の負担が適当と思われますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%	(年間___円)
現行の500円を維持する	60	75.9	
金額を引き下げる(年間___円)	7	8.9	100円 [2人]、200円 [2人] 480円 [1人]、無回答 [2人]
金額を引き上げる(年間___円)	5	6.3	1000円 [3人]、5000円 [1人] 無回答 [1人]
わからない	7	8.9	
計	79	100.0	

**Q 10** その他、やまぐち森林づくり県民税制度について、ご意見・ご要望などがございましたら、ご記入ください。(全角200字以内)

省略